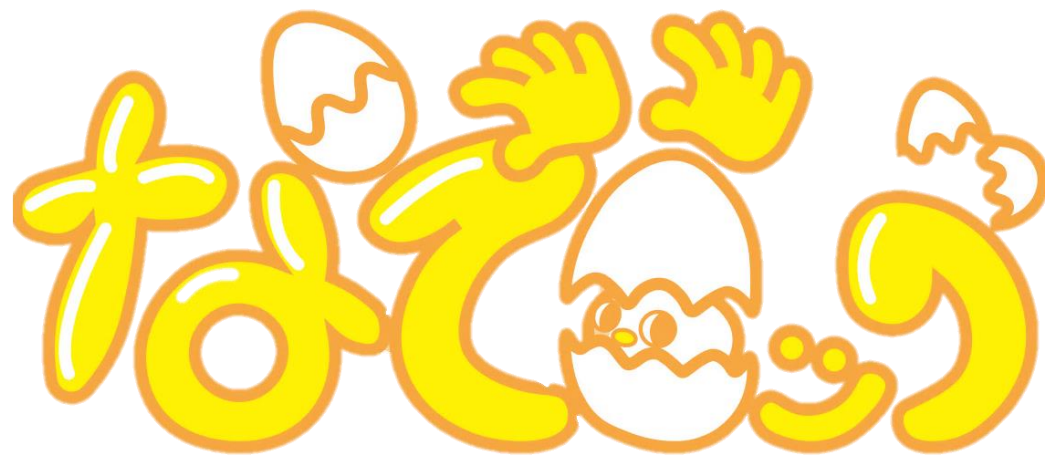


成長するペットロボ



Ver.2

なでエッグのねらい

【課題】

現代社会における孤独感や
コミュニケーションの希薄化



【仮説】

多彩な反応と挙動の変化を持った
ロボットが周囲の人々との話題を作る

なでエッグの特徴

1. 機械っぽくない見た目
2. 撫でると成長する
3. コミュニケーション

なでエッグの特徴

1. 機械っぽくない見た目
2. 撫でると成長する
3. コミュニケーション

特徴 1 【機械っぽくない見た目】

身の回りにもあっても違和感のない存在

仮説 1 : 外部から見たとき生物と同様に
ブラックボックスであることが重要

仮説 2 : 内部の機構・処理を人に想像させることで
周りの人間の興味を引く



ネジが見えない
全身PLAの3Dプリンタ型の筐体

なでエッグの特徴

1. 機械っぽくない見た目
2. 撫でると成長する
3. コミュニケーション

特徴 2 【撫でると成長する】

「成長する」とは？

1. 人ごとに親密度が変化する
2. 感情表現が豊かになっていく

特徴 2 【撫でると成長する】

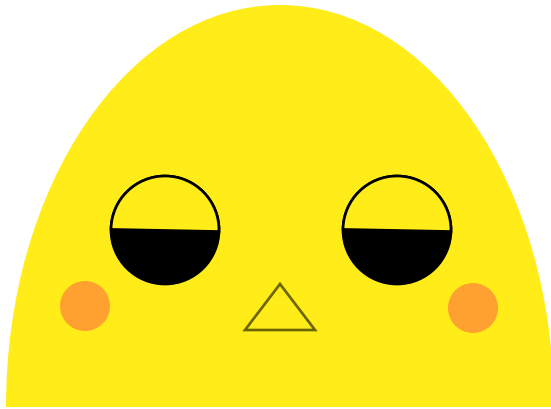
親密度について

顔の特徴から人毎に個別の懐き度を算出

お世話をすると親密度がUP

親密度が高い人に会えると喜ぶ

特徴 2 【撫でると成長する】



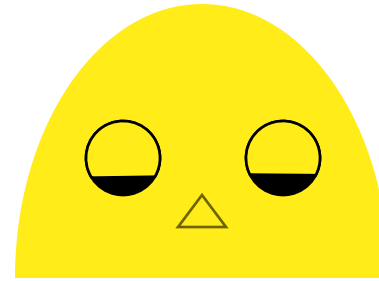
感情表現が
豊かになる

- ・ まぶたの動き
- ・ 鳴き声
- ・ 体の揺れ
- ・ 頬の色

: 感情表現 1 【まぶたの動き】



怒り



眠気

悲しみ



覚醒



：感情表現 2 【鳴き声】

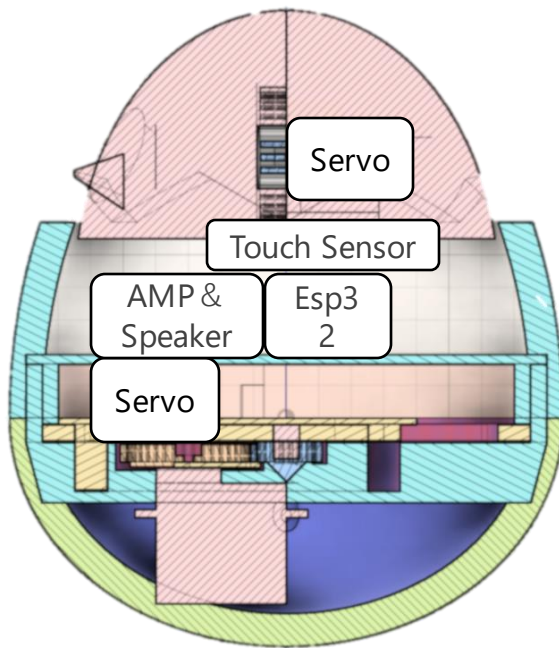
	メリット	デメリット
人語	人間との意思疎通が容易	外見との乖離 録音の手間/合成音声苦手
電子音	制御が容易, バリエーション	機械感、表現の幅が狭い
鳥の鳴き声	外見との相性◎ 表現の幅が広い	生成が難しい

AIを用いて鳥の鳴き声を生成

○：生成が容易、バリエーションが豊か

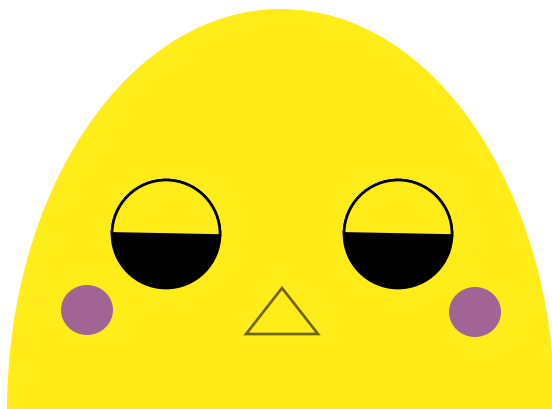
×：生成AIの限界(品質の不安定さ)

: 感情表現 3 【体の揺れ】

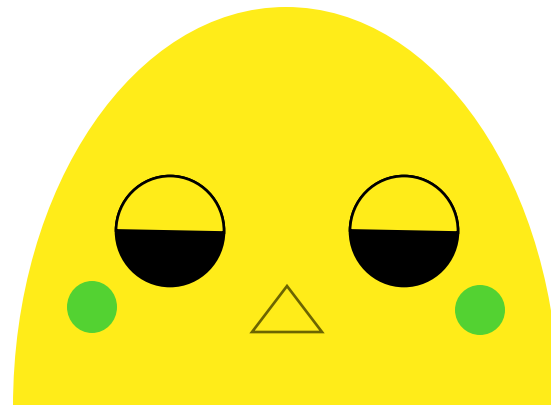


はずみ車による回転
→ 体の揺れを発生

: 感情表現 4 【頬の色】



イライラ



リラックス

なでエッグの特徴

1. 機械っぽくない見た目
2. 撫でると成長する
3. コミュニケーション

特徴3 【コミュニケーション】

従来の
ペットロボ

人間とロボット

- ・お世話をしたくなる（親密度）
- ・興味を惹きつける見た目
- ・多彩なリアクション

なでエッグ

人間と人間

- ・会話のネタになる

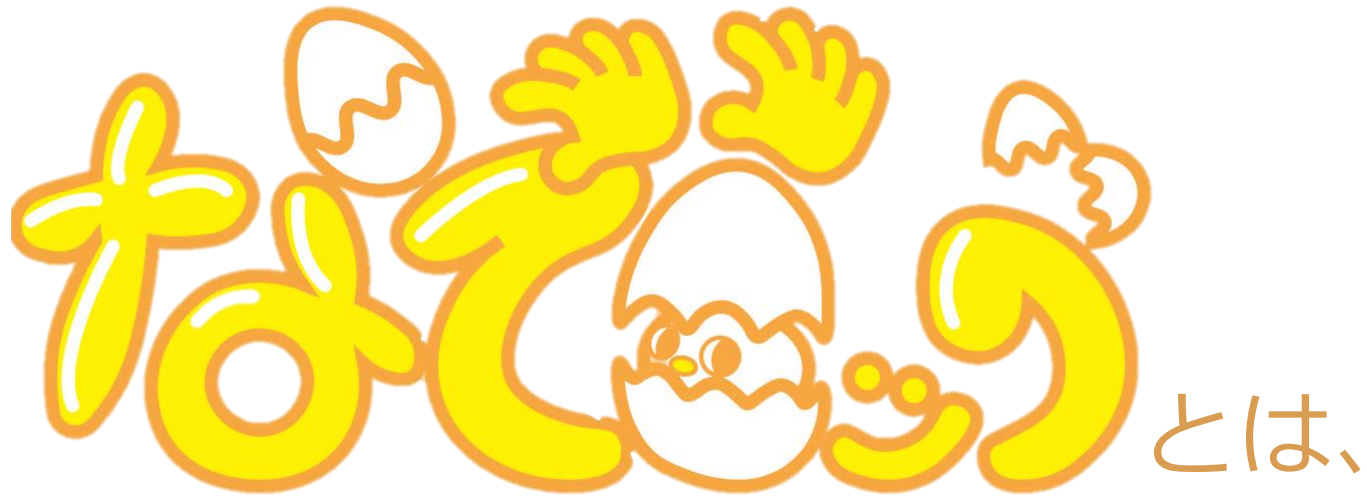
ロボットとロボット

- ・互いの成長に影響を及ぼす

なでエッグのこれから

- ・ なでエッグ同士のコミュニケーション
- ・ 頬のライトアップ
- ・ 感情表現のアルゴリズム

まとめ



我々の生活に違和感なく溶け込み
日々成長しながら人と人を繋いでいく
ペットロボット である